

木場潟公園東園地の令和5年度管理状況

様式 1

施設所管課	土木部公園緑地課
施設管理者	(株)岸グリーンサービス
指定期間	令和5年4月1日～令和8年3月31日
中期経営目標 (R5～R7)	①利用者数を3年間で10万人にします。 ②利用者アンケートによる満足度を3年間で95%にします。

1 中期経営目標達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組

(1) 実績

項 目	実施内容
① サービス向上・利用促進	①施設の使用受付、案内等の接遇の向上 接客基本行動を毎朝礼時に職員全員で実施 接客マニュアルを作成し接客態度・行動を徹底している ホスピタリティーの精神でお迎えを実施 ②施設利用にかかる受付・問い合わせ対応 プログラム、施設使用の問合せや予約に対する電話確認 ご希望内容の実現にむけて細かな打合せの実施 特に既存プログラム内容に留まらず利用者の要望を最大限実現するための受付システムの改善を随時実施 ③体験学習プログラムの円滑な運営を行い仕様書の目標回数を上回った。 ④独自イベントを組立実施し東園地の特長を活かした取り組みを実施
② 広報活動	①ホームページ、フェイスブック、インスタグラム等を活用し公園の情報発信に努めている。 ②レストルーム内モニターを活用しキッチンカー・自主事業の広報を実施した。 ③案内受付窓口に自主事業の募集要項を貼付し利用促進につないだ。 ④木場潟周辺の地元町会と連携したイベントを実施した。 ⑤フォレストサポーター会の協力を得て未供用エリアの散策路の整備を継続的に実施している。 ⑥いしかわ自然学校との連携による体験学習プログラムの円滑な運営を実施した。 ⑦小松市緑花公園課との事業内容の共有化を行った。 ⑧木場潟公園協会との情報交換の実施した。 ⑨小松市教育委員会の後援を取り小学校へのイベントチラシ配布を実施した。

(2) 令和6年度における取組内容の見直し等

実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用促進につなげるため、営業、DM、SNS(インスタグラム)、広報など活動を進める。 ・ 園内の花植えに関して小松市と連動し花エリアを増やし公園の魅力増進に努める。 ・ 里山エリアの間伐を増加させ樹木を中心とした観察ができるエリアを整備する。 ・ 木場潟公園を参考に植物が見学できるエリアを検討し整備する。

2 中期経営目標の進捗状況

測定指標	H29～R元 年度 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度	前年度比	基準値比	R7年度 (目標値)
(1) 利用者数(人)				75,192人	#DIV/0!	#DIV/0!	85,000人
(2) 貸館稼働率(%)					.0%	.0%	
(3) 利用者アンケート における満足度							
利用者サービス(%)				100.0			95.0
施設の維持管理(%)				100.0			95.0

※基準値は中期経営目標における基準値

<利用者数、貸館稼働率など利用指標に係る増減理由>

指 標	対前年度増減理由	対基準値増減理由
利用者数	—	—
貸館稼働率	—	—

<利用者アンケート結果(令和5年6月～令和6年3月実施 有効回答数94件)>

項 目	回 答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス(%)	73.4%	26.6%	0.0%	0.0%
施設の維持管理(%)	76.7%	23.3%	0.0%	0.0%

3 施設等の維持管理

項目	実施内容
(1) 清掃	職員による床拭き清掃、トイレ清掃を毎日実施
(2) 設備保守点検	遊具・・・日常点検、定期点検9月 その他の施設・・・専門業者に委託（保守契約に基づく）
(3) 植栽維持管理	芝生：刈込、施肥 園地：除草 樹木：剪定、枯枝除去、施肥、害虫駆除、雪吊り オンシーズンの毎日の散水実施（里山植樹・花壇）
(4) 警備	①スタッフによる園内巡回 ②警備システムによる夜間警備 ③園内AIカメラによる害獣侵入警備を導入し警備 ④大型イベント時に駐車場警備を実施
(5) 小規模修繕	デッキ修繕

4 管理運営体制

項目	実施内容
(1) 緊急時の対応・安全管理などの危機管理	①緊急時の連絡体制の確認 ②自主避難訓練の実施 ③消火器等設備の設置場所の再確認
(2) 個人情報の管理状況	・基本協定（個人情報の取り扱いに係る特記事項）に基づき、適正に管理

5 収支状況

(1) 使用許可等の状況

(単位：件)

項目	許可件数	不許可件数	不許可理由
合計	0	0	

(2) 使用料の収入実績（利用料金の収入及び減免の状況）

(単位：千円)

項目	収入額	減免額	減免理由
合計	0	0	

(3) 収支決算

(単位：千円)

収 入		支 出	
指定管理料	95,655	人件費	16,430
利用料収入	0	光熱水費	9,163
自主事業収入	2,928	修繕費	92
その他	9,760	緑地管理費	50,119
		その他	32,500
合 計 ①	108,343	合 計 ②	108,304
収支差額 ①－②	39		

6 利用者からの意見、苦情、要望

年 月	内 容	対 応
5年5月	大型遊具の増設	県へ報告
5年7月	里山エリア入園時間延長	安全に過ごしていただける時間を検討し設定している旨お伝えした
5年8月	足湯の通年温泉水希望	今年度試用開始しモニタリングを実施
5年9月	カフェとキッズルームが一緒になっているため、落ち着いて食べれない	外でも食べれるようなパッケージの工夫
5年12月	冬の足湯スペースの風雪対策	県へ報告

7 事故、故障等

年 月	内 容	対 応
5年10月	スタッフ園内巡回中にクマに襲撃され負傷	①電気柵の増設 ②AIカメラによる監視強化 ③園地外周の雑木の伐採 ④危機管理マニュアル変更

8 その他報告事項など

--

9 評価結果

評価項目	評価	所見（工夫・改善点）
(1) 中期経営目標の達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 木場潟の自然環境を保護すると共に、関連施設や他機関と連携して、利用促進を図っている。 ・ 公園の話題や季節ごとの公園の魅力を、SNSを有効に活用し、利用者へ情報発信を図っている。 ・ 農業体験ハウスでの収穫体験や、収穫物を使用したカフェメニューとして来園者に提供し、公園の魅力をアピールしている。 ・ 数多くの自主事業を企画・実施し、利用者数の増加に繋げている。
(2) 施設等の維持管理	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 造園業者の特性を活かし、植栽・芝生の管理を良好に行っている。
(3) 管理運営体制	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 造園業者の特性を活かし、経費の削減に努力している。 ・ 光熱水費について、ソーラー発電の効率を維持管理し、発電量の維持に努め、電気料金を削減している。 ・ クマ対策として、AIカメラを設置し早期発見に努め、またマニュアルを作成し、利用者の安全対策を実施している。
総合評価	A	<ul style="list-style-type: none"> 初年度にもかかわらず、様々な自主事業の企画、実施し利用者数の増加に繋がったほか、クマ出没後も適切な対応を実施し、利用者の安全対策をしている。

○ 評価基準

- A（優）：仕様書等に定める水準を大いに上回っており、その結果、優れた実績をあげている
- B（良）：仕様書等に定める水準を上回っている
- C（可）：概ね仕様書等に定める水準どおり実施されている
- D（不可）：仕様書等に定める水準を下回っており、改善を要する部分がある

○ 総合評価

- A（優）：優れた管理運営がなされており、かつ、十分な実績をあげている
- B（良）：優れた管理運営がなされている
- C（可）：適正な管理運営がなされている
- D（不可）：改善が必要である

10 助言・指摘事項